

情報の伝達経路

町からの避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



いざというときの連絡先

名 称	電話番号
播磨町役場	079-435-0355(代表)
関西電力送配電(株)	0800-777-3081
大阪ガス(株)	ガス漏れ通報専用 0120-7-19424
	お客様センター 0120-7-94817
NTT(電話の故障)	113 または 0120-444-113

火事・救急 119 事件・事故 110 海上保安 118

インターネットによる情報の入手先

兵庫県防災(気象)情報 ●県内の避難情報の発令状況や観測情報を提供しています。 http://web.bosai.pref.hyogo.lg.jp/	神戸地方気象台 ●県内の気象予報、防災情報、観測情報などを提供しています。 https://www.data.jma.go.jp/kobe-c/
国土交通省 川の防災情報 ●河川に関する防災情報を公開・提供しています。 https://www.river.go.jp/	国土交通省 リアルタイムレーダー ●全国の雨量情報をリアルタイムで提供しています。 https://www.jma.go.jp/bosai/realtimerad/
兵庫県CGハザードマップ ●県内の様々な情報を地図情報で提供しています。 http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/	播磨町役場 ●播磨町の避難所開設状況等を確認することができます。 https://www.town.harima.lg.jp/
播磨町WEBハザードマップ ●播磨町のハザードマップをWEB上で閲覧することができます。 https://www.town.harima.lg.jp/kikikanri/bosai/bosai/webhazardmap.html	Yahoo!防災速報 アプリ ●緊急地震速報や豪雨予報、避難情報などをお知らせします。 https://emg.yahoo.co.jp/
ひょうご防災ネット アプリ ●12外国語対応。多くの方に防災情報を提供しています。 https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk40/pa20_000000001.html	みたチョ アプリ ●任意の避難場所への誘導機能を搭載したアプリです。 https://www.town.harima.lg.jp/kikikanri/bosai/bosai/hinancho/mitacho/index.html

防災安心ネットはりま(携帯電話／スマホ等)

「防災安心ネットはりま」のHPから、地震や台風等の防災情報をメールで受信できるように登録できます。以下のURLからアクセスしてください。

防災安心ネットはりま <http://bosai.net/harima/>

メール配信サービスは、防災安心ネットはりまの【かんたん登録はこちら!】から、以下のメールアドレスに空メールを送信し、案内に従って登録してください。

登録用メールアドレス→ harima@bousai.net



dボタンの位置や形状は機種によって異なります。

①NHK総合テレビを表示し、リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押してください。

②リモコンの矢印で「防災・生活情報」に合わせ、「決定」ボタンを押してください。

③お住まいの市町(テレビに設定している郵便番号で判定)から情報が発信されれば、「避難情報」「避難所開設情報」ボタンが赤くなるので、選択するとそれぞれの情報が表示されます。※県内のどこの地域にも情報がない場合は、ボタンがグレーになります(選択できません)。

令和3年5月作成

播磨町

総合

保存版

防災マップ

洪水 高潮 ため池 地震 津波

- P.1 風水害の対策
P.2 避難行動判定フロー
P.3・4 警戒レベルと取るべき行動
P.5 避難のポイント
P.6 洪水／高潮ハザードマップ索引図
●洪水ハザードマップ
P.7・8 <計画規模降雨>
P.9・10 【西 部】<想定最大規模降雨>
P.11・12 【北東部】<想定最大規模降雨>
P.13・14 【南東部】<想定最大規模降雨>
●高潮ハザードマップ
P.15・16 【西 部】
P.17・18 【南東部】
P.19・20 【南 部】
●ため池ハザードマップ
P.21・22 【全 域】
- P.23 地震の対策
●震度分布図／液状化危険度マップ
P.24 山崎断層帯地震・南海トラフ巨大地震
P.25・26 地震・津波が起きたら
P.27・28 地震・津波ハザードマップ索引図
●地震・津波ハザードマップ
P.29・30 【西 部】
P.31・32 【北東部】
P.33・34 【南東部】
P.35・36 【南 部】
P.37 自然災害に備えて
P.38 非常持ち出し品・備蓄品
P.39 わが家の避難マップを作ろう
P.40・41 マイ避難カードを作ろう
P.42 施設一覧

※内水ハザードマップは作成していません。

播磨町 危機管理グループ

〒675-0182 兵庫県加古郡播磨町東本荘1-5-30 TEL:079-435-0355(代表) / 079-435-0991(直通) FAX:079-435-7901(直通)

総合防災マップを活用し、災害への備えを

近年、雨の降り方が、局地化・集中化・激甚化しており、全国各地で豪雨災害が頻発しています。この総合防災マップに示した浸水想定等は、一定の条件下でのシミュレーション結果を示したものですが、その条件を上回る大雨や局地的な豪雨も多く発生しています。その場合、ここで示した範囲を超えて被害が拡大するおそれがあります。

想定と異なる状況になっても、総合防災マップを活用して事前に災害や避難についてイメージすることができれば、いざというときに慌てずに行動することができます。

災害発生のおそれが高まった場合に、町は積極的に様々な情報を発表しますが、その情報を活用し、避難などの行動を決断するのはあなた自身です。この総合防災マップを使って避難所や避難方法などを確認し、家族や地域で災害に備えましょう。

写真：国際航業株式会社・株式会社パスコ

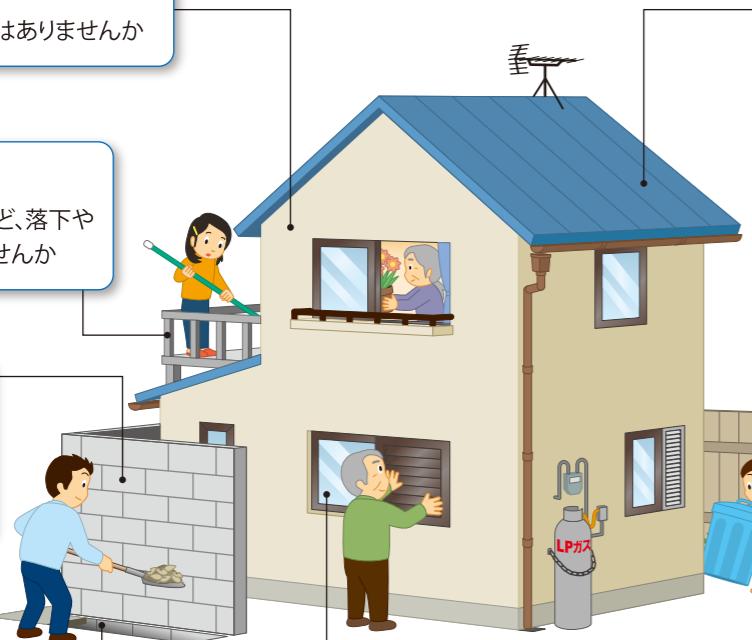
風水害の対策

家屋の被害を抑える

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。

外壁

- モルタルの壁に亀裂はありませんか



ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか



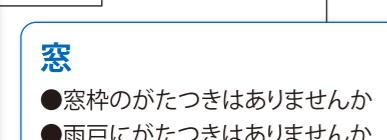
ブロック

- 傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか



排水溝

- 側溝や雨水ますにゴミや土砂はありませんか



その他

- ガスボンベ(プロパンガス等)は固定されていますか
- 商店などでは看板のぐらつきはありませんか
- ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
- 庭木には添え木をしていますか
- 窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか

避難行動判定フロー

あなたが取るべき避難行動は？

総合防災マップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

ご自身、または、一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、
安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3が出たら、
播磨町が開設している
自主避難所・避難所に避難しましょう。

はい

警戒レベル4が出たら、
安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

はい

警戒レベル4が出たら、
播磨町が開設している
自主避難所・避難所に避難しましょう。

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

以下の3つが確認できれば、浸水の危険があっても自宅にとどまり、安全を確保することもできます。

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないか
区域内の場合は…

→流れが速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります
→地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

②浸水深より居室は高いか

5m～10m未満	3階床上浸水～4階軒下浸水
3m～5m未満	2階床上～軒下浸水
0.5m～3m未満	1階床上～軒下浸水
0.5m未満	1階床下浸水

③水位が下がるまで我慢できるか／水・食料などの備えは十分か

けいかい と こうどう 警戒レベルと取るべき行動

ふうすいかいじ と こうどう 風水害時に取るべき行動

あめ ふ かた 雨の降り方	けいかい 警戒レベル 相当情報	みずか こうどう と さい はんだん さんこう ほうさいきょうじょうほう 自ら行動を取る際の判断に参考となる防災気象情報
1 相当	2 相当	3 相当
4 相当	5 相当	あめ つよ ま ます 雨の強さが 増す
		
大雨が一層 激しくなる		危険度 大
※1 猛烈な雨:1時間雨量80mm以上、非常に激しい雨:1時間雨量50mm以上80mm未満、激しい雨:1時間雨量30mm以上50mm未満	けいかい 気象情報 河川の水位情報	はんらんちゅういじょうほう 氾濫注意情報
※2 高潮警報に切り替える可能性に言及 されているもの	おおあめ こうずいけいほう 大雨・洪水警報 たかしおちゅういほう 高潮注意報※2	はんらんけいかいじょうほう 氾濫警戒情報 はんらん たい けいかい はっぴょう 氾濫に対して警戒するときに発表
※3 高潮により命に危険が及ぶおそれがあると 予想されるときに発表	たかしおけいほう 高潮警報※3 たかしあとくべつけいほう 高潮特別警報※4	はんらんけんじょうほう 氾濫危険情報 はんらん はっぴょう 氾濫のおそれがあるときに発表
※4 数十年に一度の強度の台風や同程度 の温帯低気圧により高潮になると予 想されるときに発表	※5 台風や集中豪雨により数十年に一度 の降雨となる大雨が予想されるときに 発表	
※6 警報級の現象が5日先までに予想されているときに、その可能性の高さに応じて 「高」、「中」の2段階で発表		

けいかい 警戒レベルと 行動を促す情報	じょうきょう 状況	と こうどう 取るべき行動
けいかい 警戒レベル 1 早期注意情報※6	こんご 今後 きょうじょうきょうあつか 気象状況悪化 のおそれ	さいしん ぼうさいきょうじょうほう 最新の防災気象情報を確認し、災害への心構えを高めましょう。 ※6 警報級の現象が5日先までに予想されているときに、その可能性の高さに応じて 「高」、「中」の2段階で発表
けいかい 警戒レベル 2 おおあめ こうず たかしお ちゅういほう 大雨・洪水・高潮注意報	きょうじょうきょうあつか 気象状況悪化	はりまちょう そごうぼうさい 播磨町総合防災マップなどで自らの避難行動を確認しましょう。 また、P.2の避難行動判定フローと合わせて確認しましょう。
けいかい 警戒レベル 3 こうれいしゃうひなん 高齢者等避難	さいがい 災害の おそれあり	ひなん じかん よう ひと こうれい かた しょうがい かた きけん ばしょ 避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方)は、危険な場所から 避難しましょう。 こうれいしゃうひなん ひと ひつよう おう ふだん こうどう み あ 高齢者等以外の人も必要に応じて、普段の行動を見合わせたり、 危険を感じたら自主的に避難しましょう
けいかい 警戒レベル 4 ひなんじ 避難指示	さいがい 災害の たか おそれ高い	きけん ばしょ せんいんひなん 危険な場所から全員避難 せんいんひなん 危険な場所から全員避難しましょう。 ひなんさき いどう きけん おも ばあい ちか あんせん ばしょ 避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や 自宅内より安全な場所に避難しましょう。
ひなんほうほう 避難方法は2つあります。状況に応じて適切な避難行動を取りましょう。	ひなんほうほう 避難指示	ひなんほうほう 避難方法は2つあります。状況に応じて適切な避難行動を取りましょう。 ① 水浸が始まる前に すいへいひなん じゅうひなんじ ひなんじょ ひなん 水平避難 → 自主避難所や避難所へ避難しましょう ② 避難途中で危険を感じ、すでに浸水が始まっているときは すいちょくひなん つなみひなん じたく かいとう ひなん 垂直避難 → 津波避難ビルや自宅の2階等へ避難しましょう くわ すいへいひなん すいちょくひなん かくにん 詳しくはP.5水平避難と垂直避難を確認してください。
けいかい 警戒レベル 5 きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保※7	さいがいはっせい 災害発生 また せっぽく 又は切迫	いのち きけん ただ あんせんかくほ 命の危険 直ちに安全確保! さいがい はっせい せっぽく じょうきょう ひなんばしょう ひなん あんせん 災害が発生・切迫している状況です。避難場所等への避難が安全に できない場合は、自宅や近隣の建物で緊急的に安全を確保しましょう。

ひなん 避難のポイント

ひなん 避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。



状況により、すばやく避難しましょう

避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。



浸水時、自動車での避難は危険

普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。



浸水時に長靴は厳禁

避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。



家族には連絡メモを残そう

外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。



高齢者や子供は防災メモを持とう

事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。



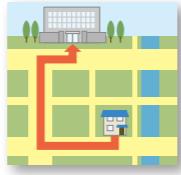
集団で助け合おう

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



安全なルートで避難

避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

すいへいひなん 水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。

例えば次のような場合、屋外への移動は危険です

- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している(50cm以上)。
- 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い。
- 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。



危険な避難



避難場所への避難(水平避難)



高所への避難(垂直避難)

洪水/高潮ハザードマップ索引図

西部

洪水ハザードマップ
(想定最大規模降雨)
▶P.9-10
高潮ハザードマップ
▶P.15-16

南部

洪水ハザードマップ▶P.13-14
(想定最大規模降雨)
高潮ハザードマップ▶P.17-18

洪水ハザードマップ
(想定最大規模降雨)
▶P.11-12

南東部

高潮ハザードマップ▶P.19-20



写真提供:加古川市

写真提供:加古川市

洪水(想定最大規模降雨)

想定最大規模降雨とは、各河川において1/1000年確率規模以上(1年の間に発生する確率が1/1000以下)になるよう設定した降雨のことです。掲載の洪水浸水想定区域は、以下の雨が降った場合に、想定される浸水の範囲や深さを示したものです。(兵庫県洪水浸水想定区域図 令和元年8月公表)



降った雨が水路や下水道(雨水)などで排水しきれなくなることにより起こる氾濫です。

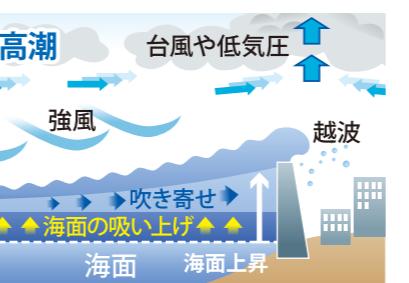
川の堤防が壊れたり、堤防から水があふれたりして発生する氾濫です。

■加古川水系下流圏域の48時間流域平均総雨量750mm

■喜瀬川流域の12時間流域平均総雨量551mm

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、河川の氾濫や河岸侵食により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。
※早期の立ち退き避難が必要な区域です。

高潮



高潮は、気圧の低下や風の吹き寄せによって海面が上昇し、発生します。満潮時と重なると広い範囲で浸水するおそれがあります。

P.15~P.20には、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域、想定される浸水の深さを掲載しています。想定し得る最大規模の高潮とは、日本に接近した既往最大規模の台風(室戸台風規模:中心気圧910hPa)が、満潮時に潮位偏差が最大となる経路を通過した場合に発生し得る高潮を想定しています。また、高潮と同時に河川の洪水を想定するとともに、堤防等の全ての防護施設が設計条件に達した段階で破壊することを基本とするなど最悪の事態を想定しています。(兵庫県高潮浸水想定区域図 令和2年8月公表)



写真提供:芦屋市

①野添城地区



1:7500 0 100 200 300m

播磨町

野添城・北古田・古田・
北本荘・宮西 地区

洪水 ハザードマップ

計画規模降雨

(概ね30年～100年に1回程度の大雨)

②

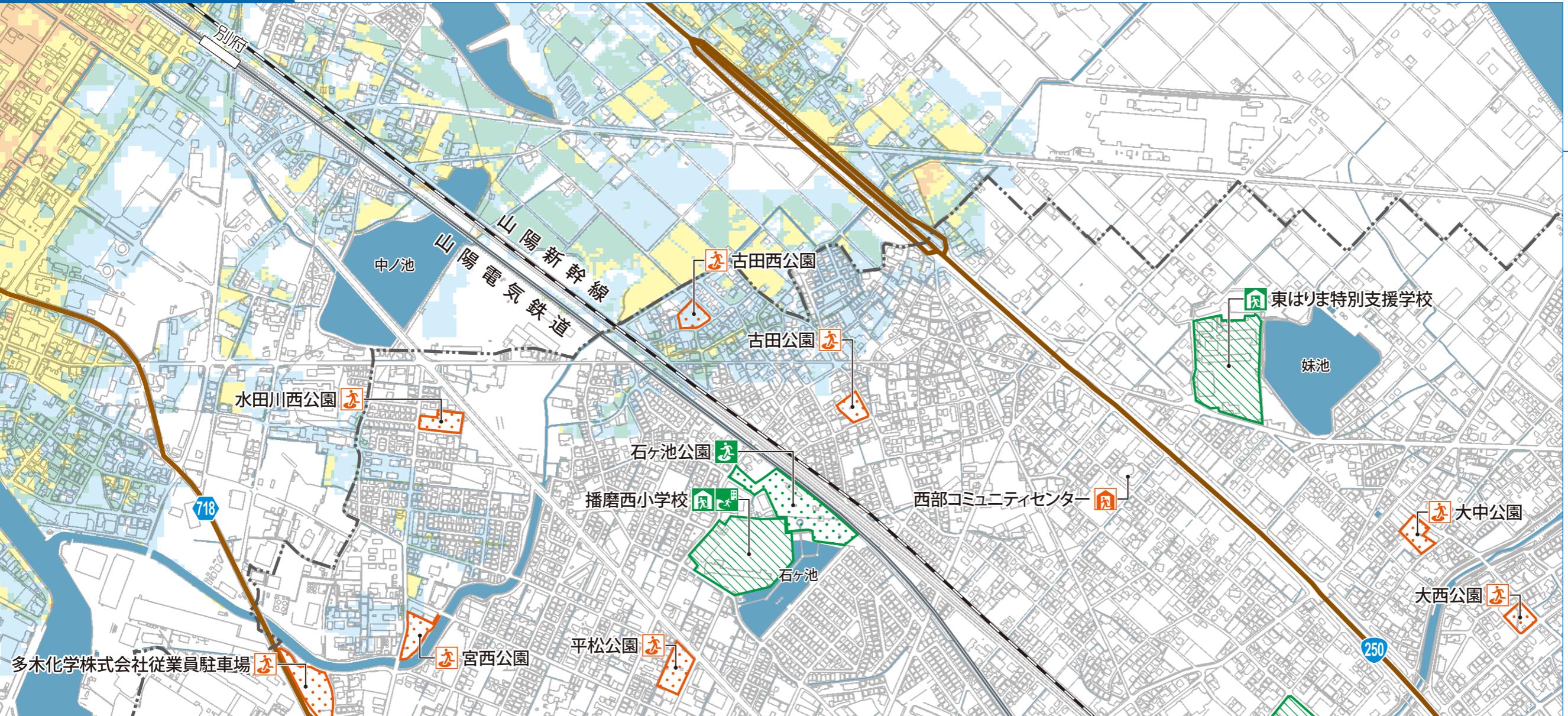
①



浸水深の目安

2.0～3.0m未満
1.0～2.0m未満
0.5～1.0m未満
0.3～0.5m未満
0.3m未満

②北古田・古田・北本荘・宮西地区



1:7500 0 100 200 300m

施設等凡例

- 自主避難所
- 津波避難ビル
- 一時避難地
- 広域避難地
- 避難所
- 警察
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界

計画規模降雨

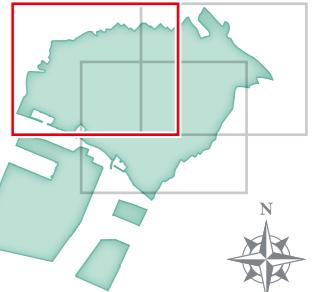
- 計画規模降雨とは、概ね30～100年に1回程度起こる大雨のことです。
- 掲載の洪水浸水想定区域は、以下の雨が降った場合に想定される浸水の範囲や深さを示したものであります。(兵庫県)

加古川水系下流域の
48時間流域平均総雨量271mm喜瀬川流域の
24時間流域平均総雨量259mm*こちらに表示されていない地域には、
計画規模降雨による浸水は想定され
ていません。

洪水ハザードマップ

想定最大規模降雨

1/1000年確率規模以上
(1年の間に発生する確率が1/1000以下)



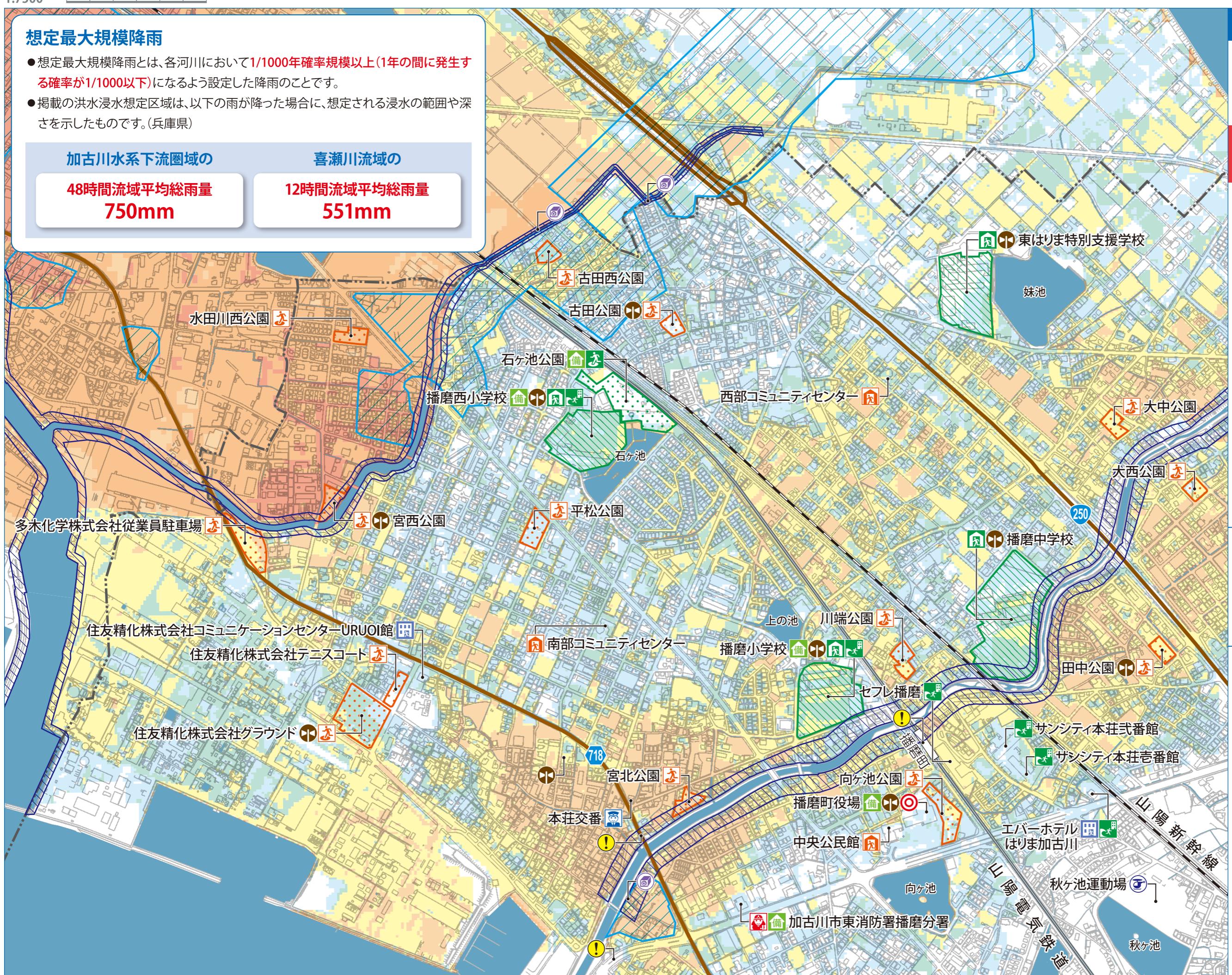
N

加古川水系下流圏域の

48時間流域平均総雨量
750mm

喜瀬川流域の

12時間流域平均総雨量
551mm



浸水深の目安	
5.0m以上	
3.0~5.0m未満	
2.0~3.0m未満	
1.0~2.0m未満	
0.5~1.0m未満	
0.3~0.5m未満	
0.3m未満	

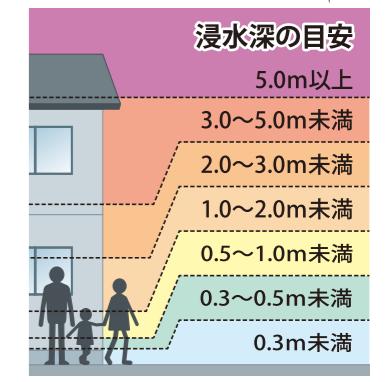
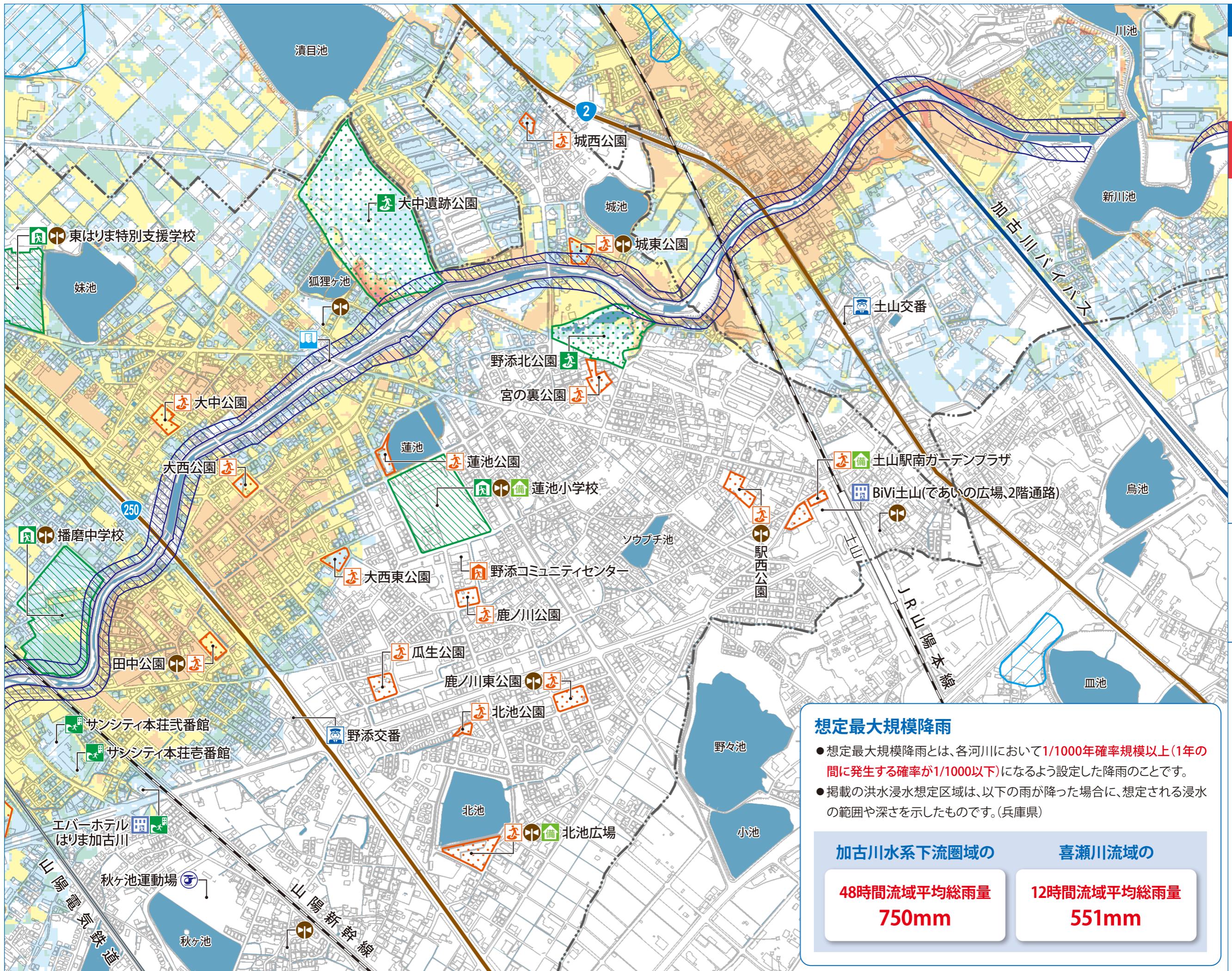
家屋倒壊等氾濫想定区域 等

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、河川の氾濫や河岸侵食により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。

■ 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
*早期の立ち退き避難が必要な区域です
■ 浸水実績(平成16年～)

施設等凡例

- 自主避難所
- 津波避難ビル
- 一時避難地
- 広域避難地
- 避難所
- 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 臨時ヘリポート
- 地下道(通行注意箇所)
- 水位観測所
- 水位カメラ
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界



家屋倒壊等氾濫想定区域 等

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、河川の氾濫や河岸侵食により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。

■ 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
*早期の立ち退き避難が必要な区域です

■ 浸水実績(平成16年～)

施設等凡例

- 自主避難所
- 津波避難ビル
- 一時避難地
- 広域避難地
- 避難所
- 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 臨時ヘリポート
- 地下道(通行注意箇所)
- 水位観測所
- 水位カメラ
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界

1:7500 0 100 200 300m

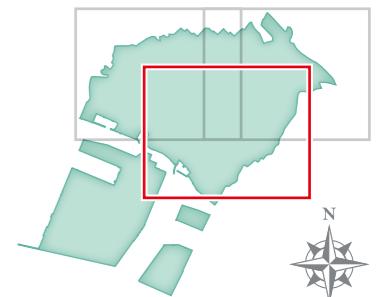
播磨町 南東部

洪水ハザードマップ

想定最大規模降雨

1/1000年確率規模以上

(1年の間に発生する確率が1/1000以下)



N

浸水深の目安

5.0m以上

3.0~5.0m未満

2.0~3.0m未満

1.0~2.0m未満

0.5~1.0m未満

0.3~0.5m未満

0.3m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域 等

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、河川の氾濫や河岸侵食により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。

■ 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

*早期の立ち退き避難が必要な区域です

□ 浸水実績(平成16年～)

施設等凡例

- 自主避難所
- 津波避難ビル
- 一時避難地
- 広域避難地
- 避難所
- 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 臨時ヘリポート
- ! 地下道(通行注意箇所)
- 水位観測所
- 水位カメラ
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界

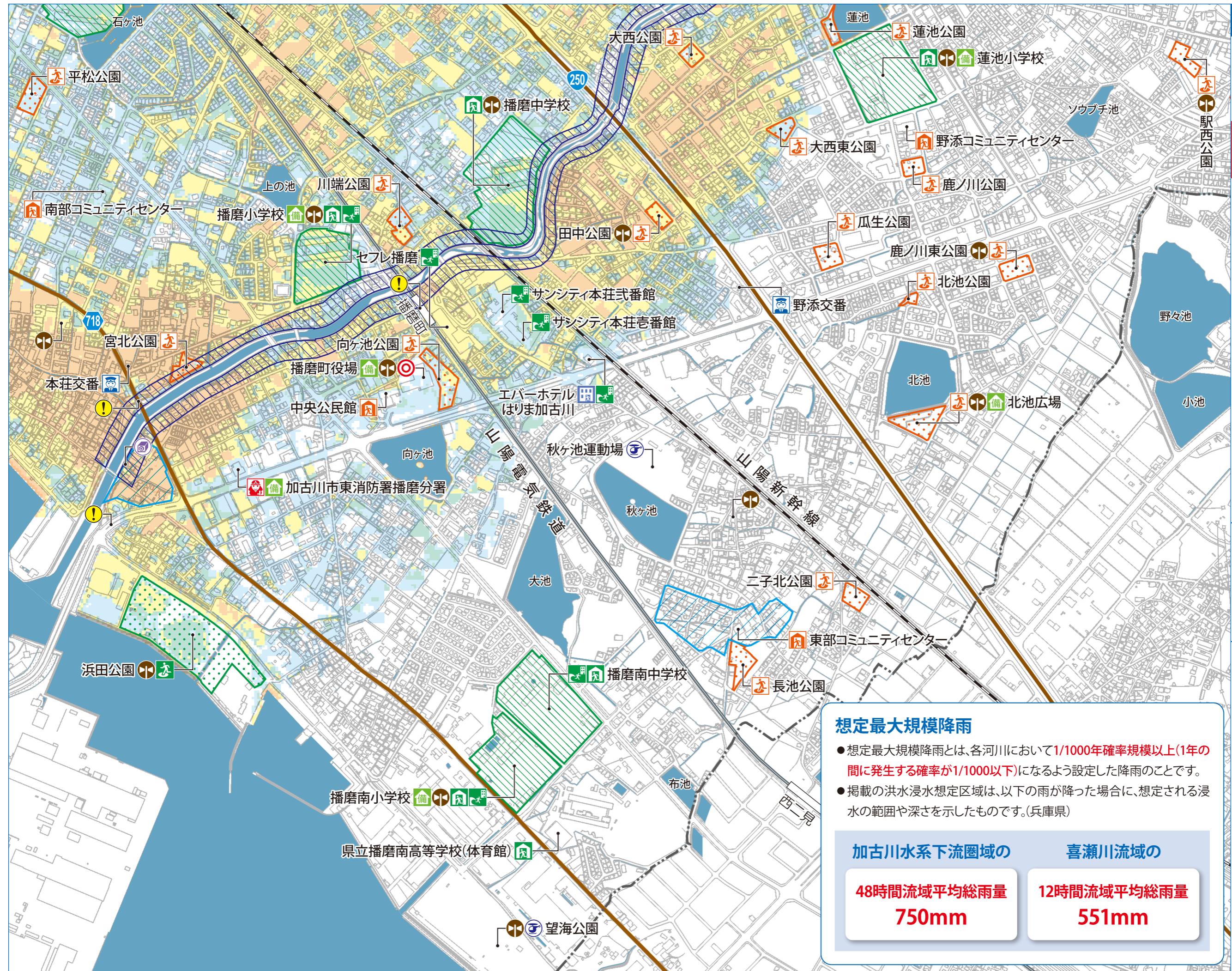
想定最大規模降雨

- 想定最大規模降雨とは、各河川において1/1000年確率規模以上(1年の間に発生する確率が1/1000以下)になるよう設定した降雨のことです。
- 掲載の洪水浸水想定区域は、以下の雨が降った場合に、想定される浸水の範囲や深さを示したものです。(兵庫県)

加古川水系下流圏域の

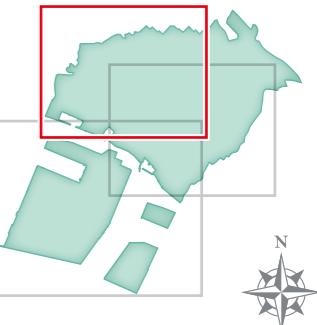
48時間流域平均総雨量
750mm

喜瀬川流域の

12時間流域平均総雨量
551mm

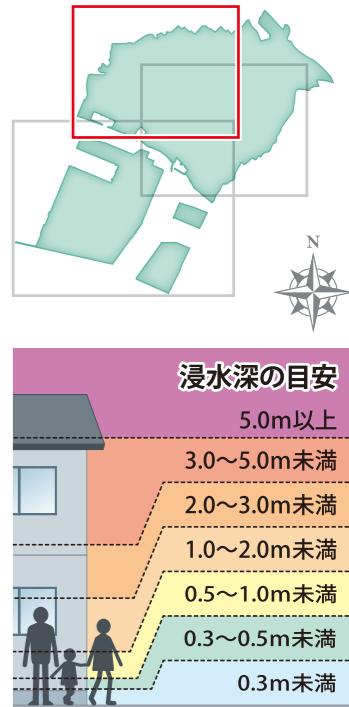
播磨町 西 部

高潮 ハザードマップ



●このマップについて

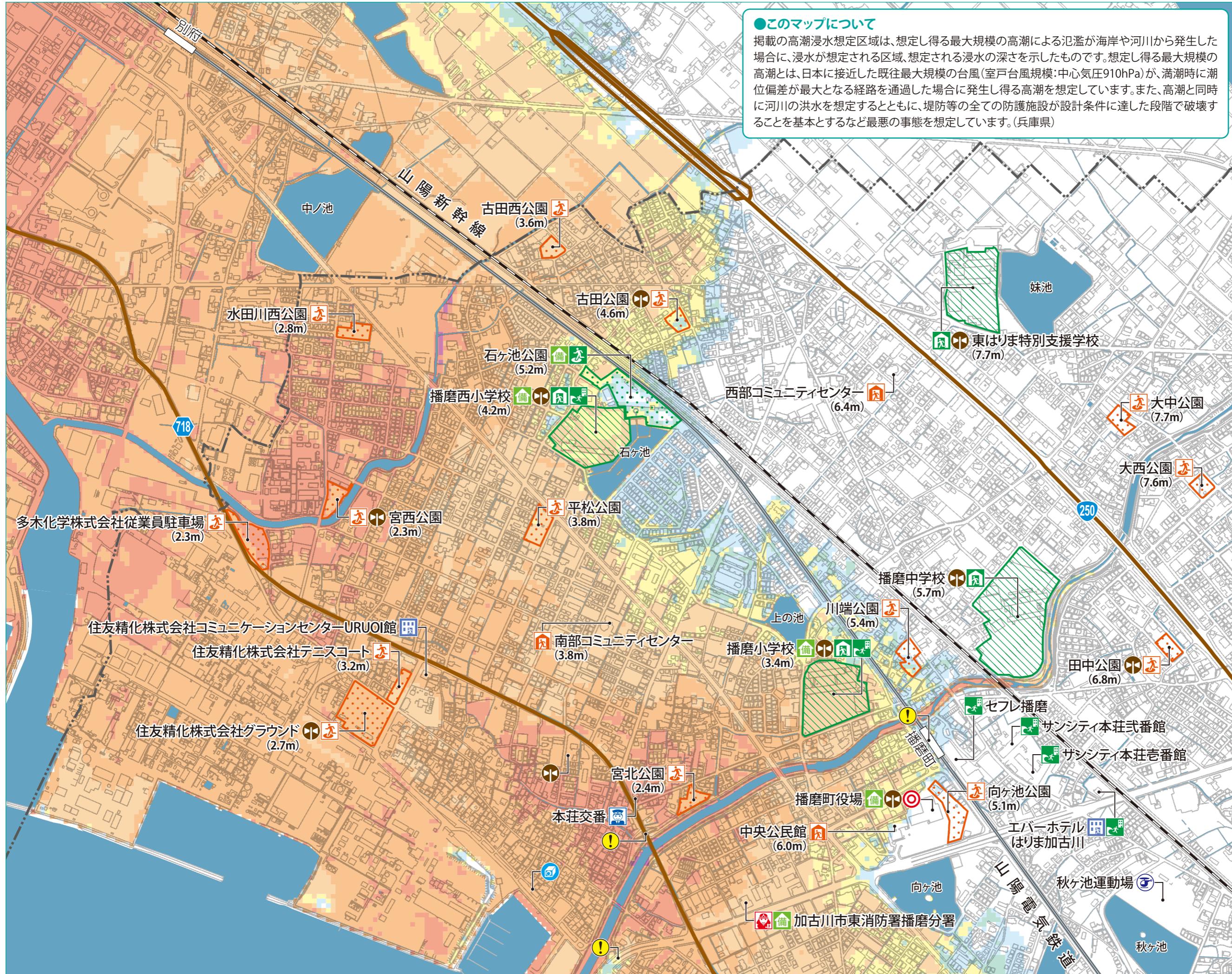
掲載の高潮浸水想定区域は、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域、想定される浸水の深さを示したものです。想定し得る最大規模の高潮とは、日本に接近した既往最大規模の台風(室戸台風規模:中心気圧910hPa)が、満潮時に潮位偏差が最大となる経路を通過した場合に発生し得る高潮を想定しています。また、高潮と一緒に河川の洪水を想定するとともに、堤防等の全ての防護施設が設計条件に達した段階で破壊することを基本とするなど最悪の事態を想定しています。(兵庫県)



施設等凡例

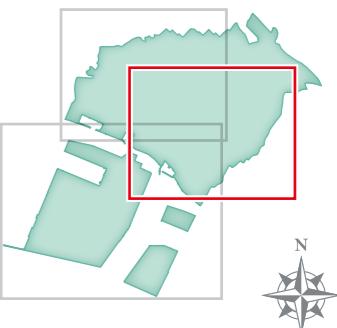
-  自主避難所※
 -  津波避難ビル
 -   一時避難地※
 -   広域避難地※
 -   避難所※
 -  臨時受入施設
 -  警察
 -  消防
 -  防災行政無線
 -  備蓄倉庫
 -  臨時ヘリポート
 -  地下道(通行注意箇所)
 -  橋梁被害監視カメラ
 -  潮位カメラ
 -  役場
 -  主要な道路
 -  高速道路
 -  鉄道
 -  市町境界

※避難所・避難場所名の下に、その地
点の海拔を記載しています。

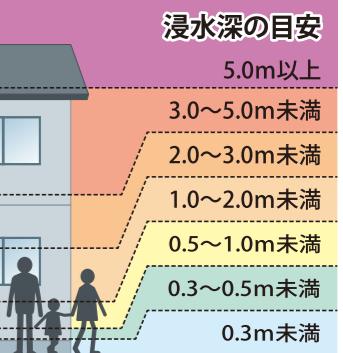


1:7500 0 100 200 300m

播磨町 南東部
高潮
ハザードマップ



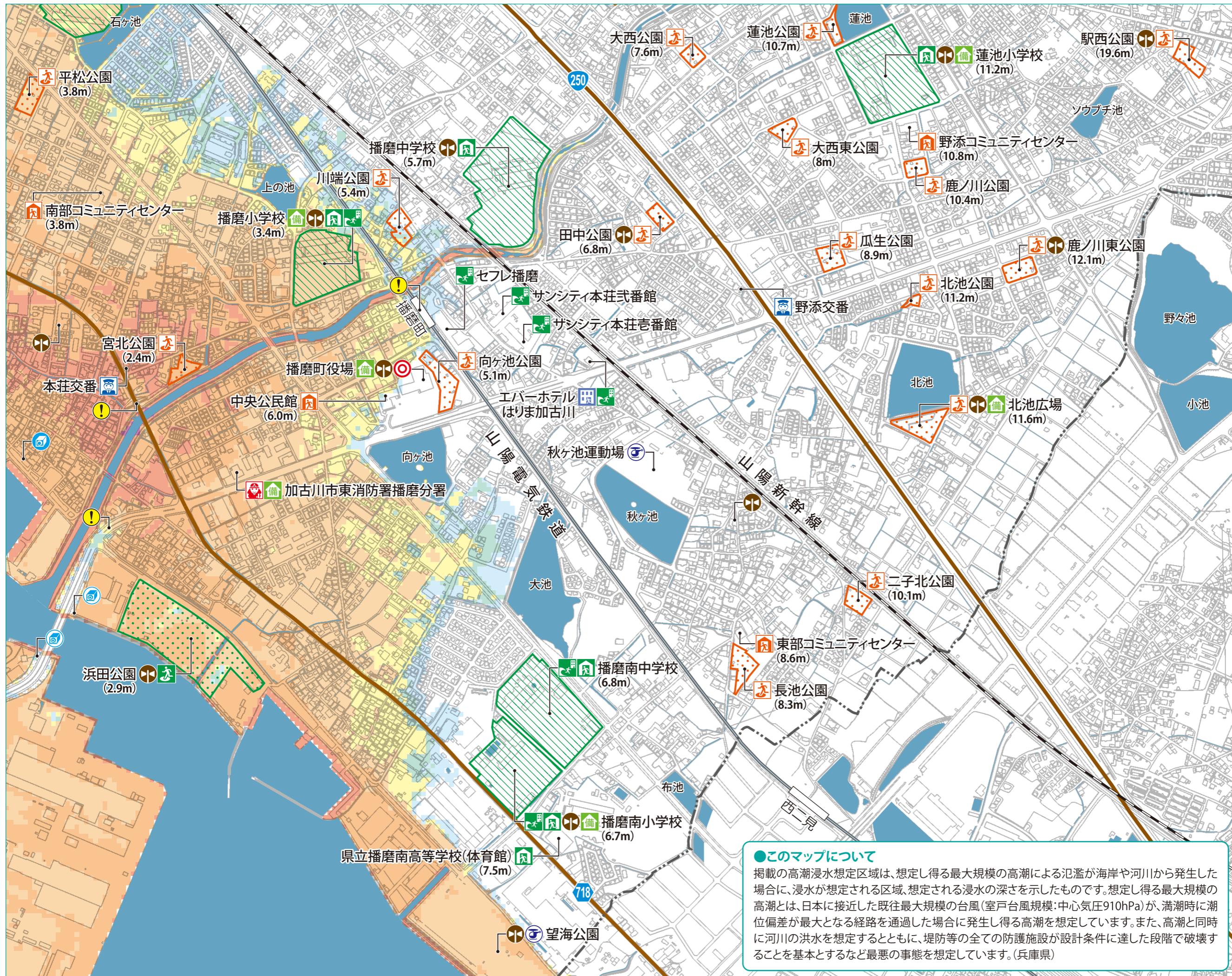
N



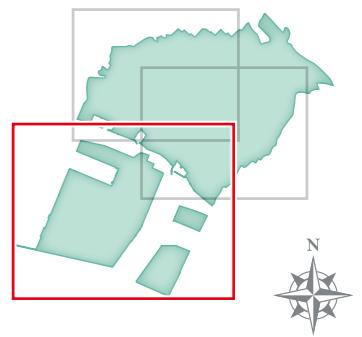
施設等凡例

- 自主避難所※
- 津波避難ビル
- 一時避難地※
- 広域避難地※
- 避難所※
- 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 臨時ヘリポート
- ! 地下道(通行注意箇所)
- ◎ 橋梁被害監視カメラ
- 潮位カメラ
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- - - 市町境界

※避難所・避難場所名の下に、その地点の海拔を記載しています。



高潮 ハザードマップ



浸水深の目安

5.0m以上

3.0~5.0m未満

2.0~3.0m未満

1.0~2.0m未満

0.5~1.0m未満

0.3~0.5m未満

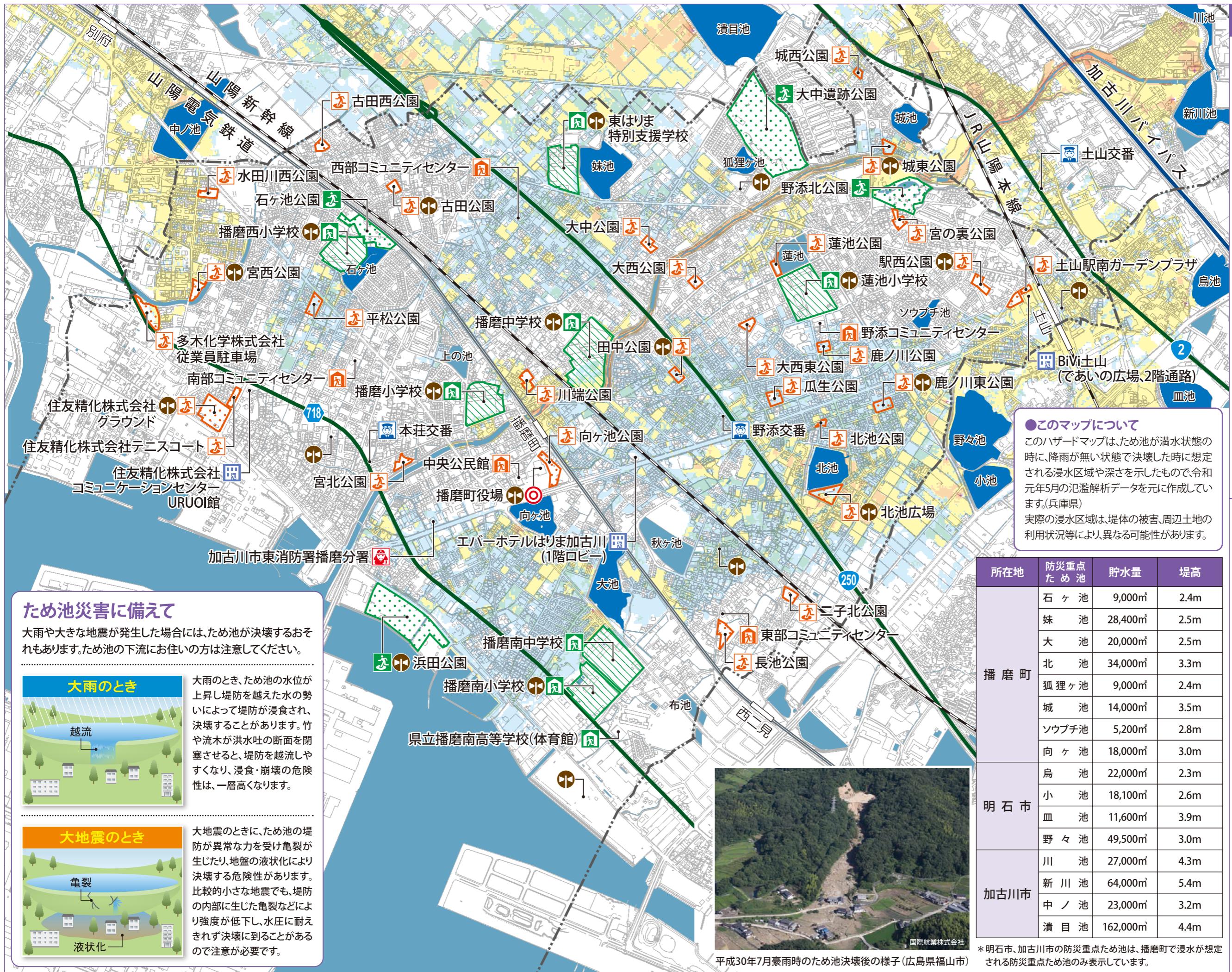
0.3m未満

施設等凡例

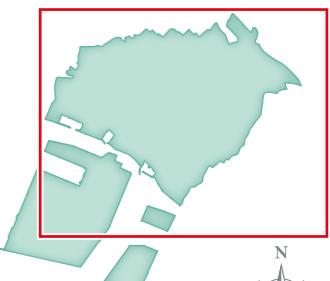
- 自主避難所※
- 津波避難ビル
- 一時避難地※
- 広域避難地※
- 避難所※
- 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 臨時ヘリポート
- 地下道(通行注意箇所)
- 橋梁被害監視カメラ
- 潮位カメラ
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界

※避難所・避難場所名の下に、その地点の海拔を記載しています。





ため池ハザードマップ



施設等凡例

- 自主避難所
- △ 一時避難地
- ▲ 広域避難地
- ▣ 避難所
- 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- - 市町境界
- 防災重点ため池

防災重点ため池とは、万が一決壊した場合に家や公共施設、農地等に被害を及ぼすおそれがあるとして県が指定したため池のことです。



じしん たいさく

地震の対策

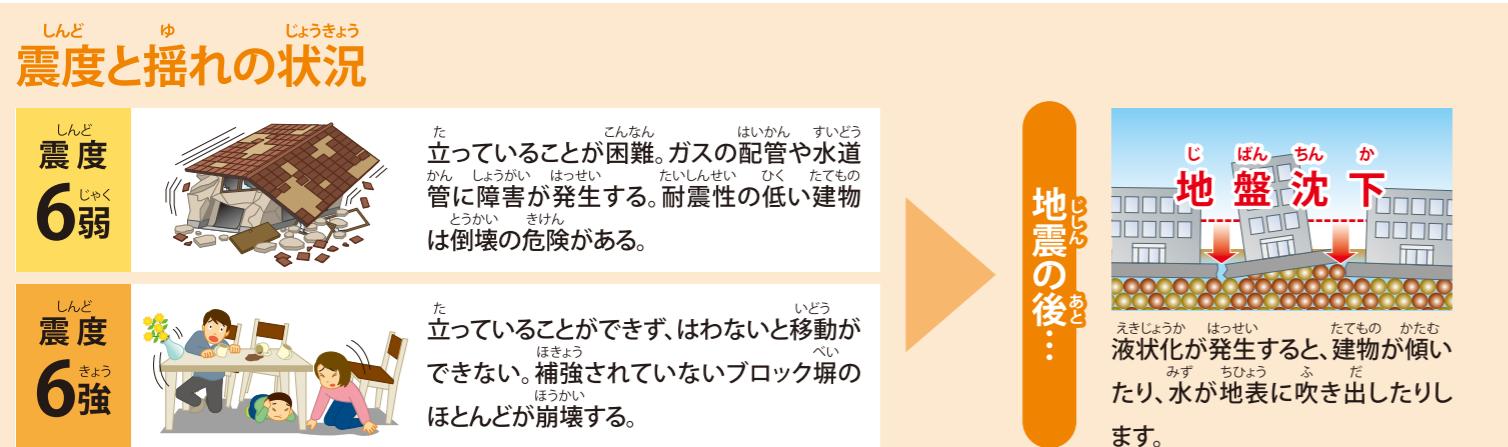
いま じしんたいさく 今すぐできる地震対策

じしん たてもの どうかい ぱあい おお かぐ てんとう ひさん と こ
地震によって建物が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、閉じ込められたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策を行いましょう。



かおく たいしんか おこな
家屋の耐震化を行いましょう

じしん じぶん かぞく いのち まも じゅうたく たいしんか おこな
地震から自分の家族の命を守るために、住宅の耐震化を行いましょう。播磨町では、昭和56年5月31日以前に着工した住宅は無料で「簡易耐震診断」を受けることができます。詳しくは町のホームページをご確認ください。



震度分布図／液状化危険度マップ

山崎断層帯地震

山崎断層帯地震が発生すると、播磨町では最大震度6強、建物全壊・焼失908棟（建物の約14棟に1棟の割合）、建物倒壊、火災等による死者58人（住民約600人に1人の割合）の被害が予想されます。



南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震が発生すると、播磨町では最大震度6強、建物全壊・焼失354棟（建物の約36棟に1棟の割合）、建物倒壊、火災等による死者21人（住民約1,650人に1人の割合）の被害が予想されます。



※上記2つの想定とともに、建物全壊・消失数は各18時、死者は各5時の場合。割合は町の建物総数12,800棟、人口34,700人として計算

地震・津波が起きたら

地震・津波発生時に取るべき行動

発表される情報

取るべき行動

緊急地震速報
震度5弱以上が予測されたときに発表

「緊急地震速報」を見聞きしたら、身を守るために行動を取る必要があります。



- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れましょう。
- 屋外では、ブロック塀の倒壊等に注意してください。



地震発生

地震発生から
1~10分

震度速報 震度3以上で発表

命を守る行動を取りましょう。
その後、揺れが収まってから避難行動を開始しましょう。



- 大きな家具から離れるなど、落ち着いて自分の身を守りましょう。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保してください。



津波に関する情報あり
地震発生から約3分後に発表

安全の確認、避難の準備・開始

- 家族の安全を確認しましょう。
- 火の元を確認、初期消火を行いましょう。
- 次の地震に注意しましょう。
- 足のけがをしないように靴を履きましょう。

津波注意報
高いところで1m以下の津波が予想される場合に発表

津波警報
高いところで1m~3m以下の津波が予想される場合に発表

大津波警報
高いところで3mを超える津波が予想される場合に発表

津波避難対象地域の方は
津波から避難する!
※沿岸部にいる場合は、すぐに津波が襲来することがありますので、情報を待たずに避難を開始しましょう。

津波からは、より「遠く」より「高く」避難する

1 津波避難目標地點へ避難する

- 喜瀬川より**西の地域**は**大中遺跡公園**へ、避難してください。
- 喜瀬川より**東の地域**は**野添北公園**へ、避難してください。



2 逃げ遅れたら、緊急的に津波避難ビルへ

- 津波避難ビルとは、町と協定を結んだ高層階を有するビル等、緊急的かつ一時的に津波・高潮・洪水から退避する施設です。

避難指示
播磨町が避難を必要と認める場合に発令

津波に関する情報なし

**当面の危険が去ったら、
自宅か避難所へ**
避難所とは、自宅が被災し、住居を失われた方を一時的に受け入れる施設です。

- 壊れた家には入らないようにしましょう。
- 地域で協力して、消火、救出活動を行いましょう。
- 避難所では、集団生活のルールを守り、助け合いましょう。



それ以後

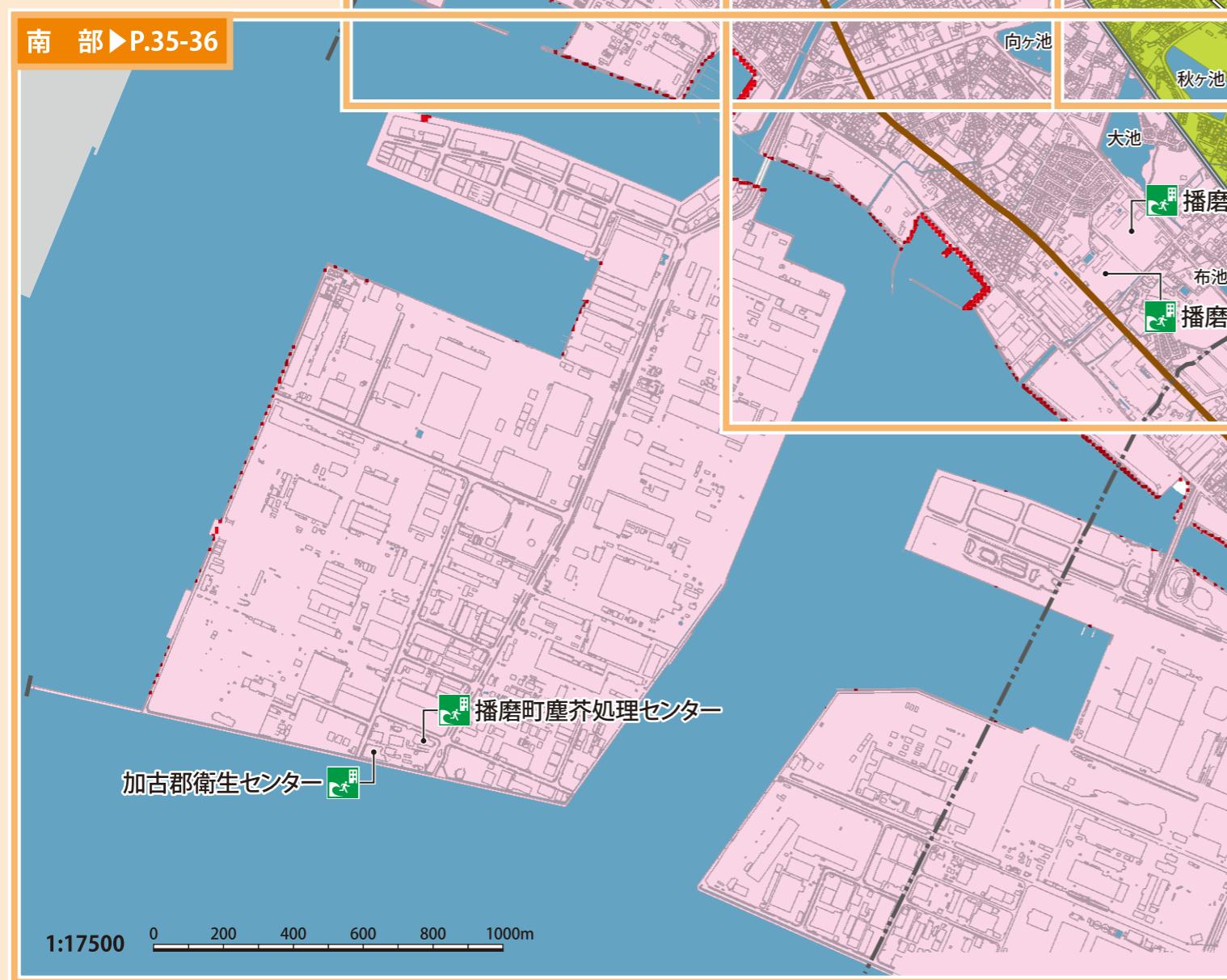
災害情報、被害状況

地震・津波 ハザードマップ

索引図

掲載の津波浸水想定区域は、兵庫県が平成26年2月に公表した南海トラフ巨大地震津波浸水想定図を基に掲載しております。

- 播磨町における津波の高さ: **最大2.2m**
- 播磨町に津波が到達する時間: **110分**
(津波の高さが1mに達するまでの時間)



大きな地震が あったときにいる場所

津波避難 対象地域内 内エリア

- 津波の危険が無いことが確認できるまで、津波避難目標地点を目指して、より「遠く」より「高く」避難する!
 - 逃げ遅れたら津波避難ビルへ避難する!
- ※加古川市内にいる時は、山陽新幹線より北側、明石市内にいる時は、山陽電気鉄道より北側を目指して避難しましょう。

津波避難 対象地域外

- 身の危険を感じたら、一時避難地等へ避難する!
- ※地震による大規模な火災等で命の危険があるときは、延焼のおそれない一時避難地や広域避難地、学校のグラウンド等に避難しましょう。

津波避難対象地域等

■ 津波浸水想定区域
■ 津波避難対象地域

海拔

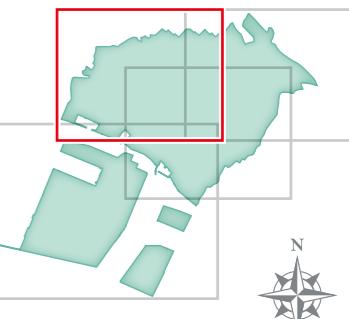
■ 10m以上
■ 5~10m未満
■ 5m未満

■ 海拔の色分けは、津波避難対象地域外のみ表示しています。

施設等凡例

- 津波避難目標地点
- 津波避難ビル
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界

地震・津波 ハザードマップ



津波避難対象地域等

津波浸水想定区域
津波避難対象地域

海拔

10m以上
5~10m未満
5m未満

海拔の色分けは、津波避難対象地域外のみ表示しています。

施設等凡例

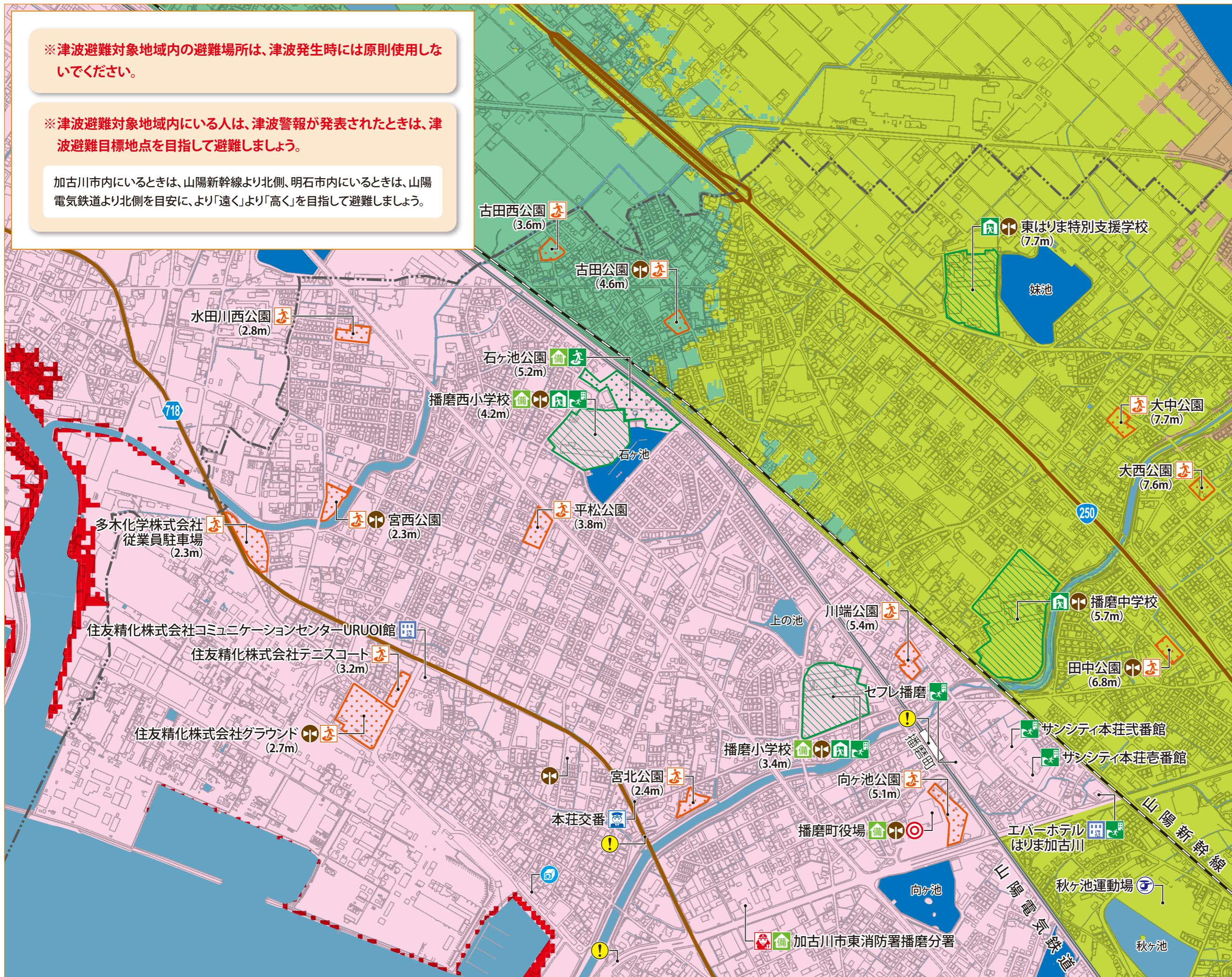
- ※ 津波避難目標地点※
- ※ 津波避難ビル
- ※ 一時避難地※
- ※ 広域避難地※
- ※ 避難所※
- ※ 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 臨時ヘリポート
- ! 地下道(通行注意箇所)
- 橋梁被害監視カメラ
- 潮位カメラ
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界
- 防災重点ため池

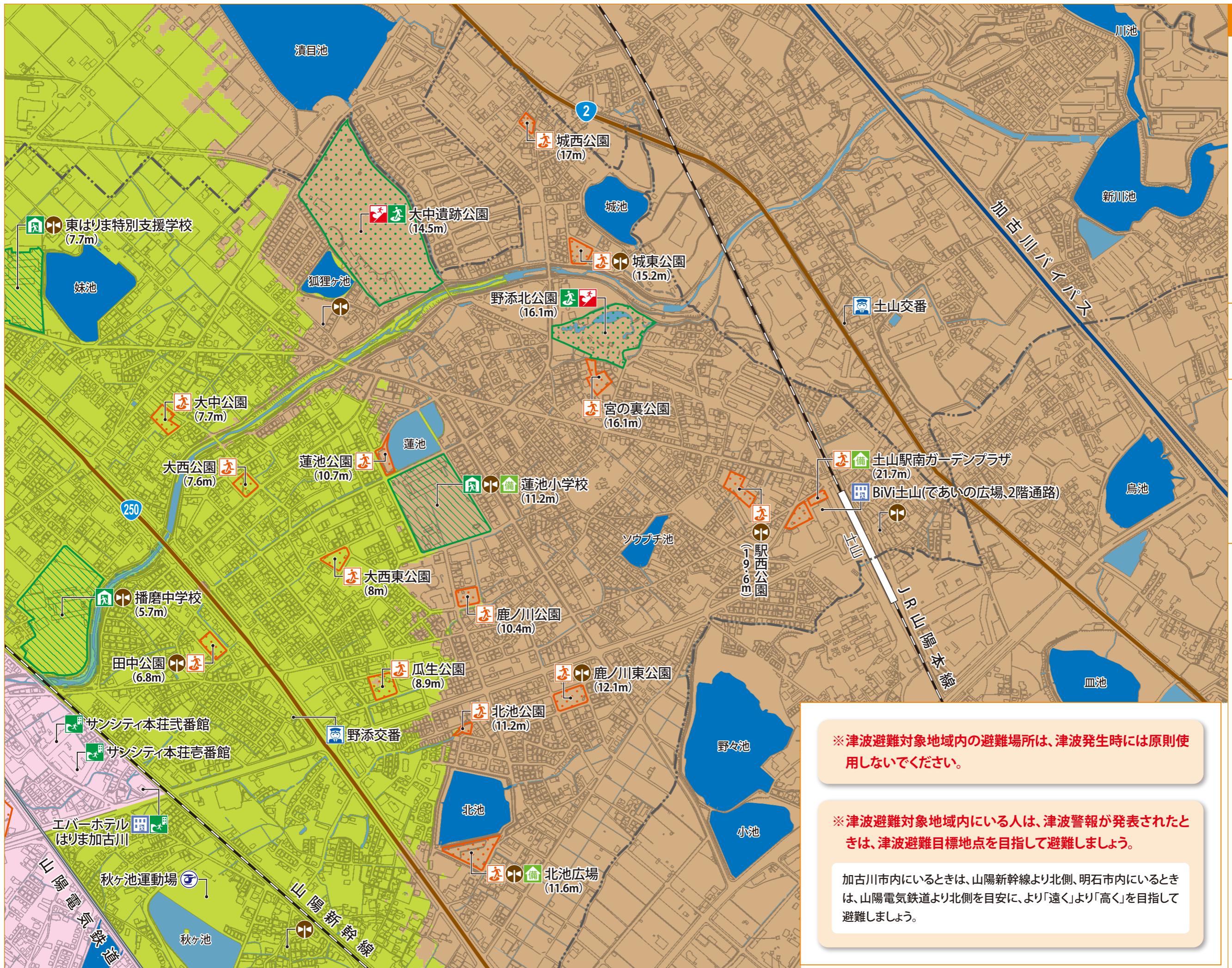
※避難所・避難場所名の下に、その地点の海拔を記載しています。

※津波避難対象地域内の避難場所は、津波発生時には原則使用しないでください。

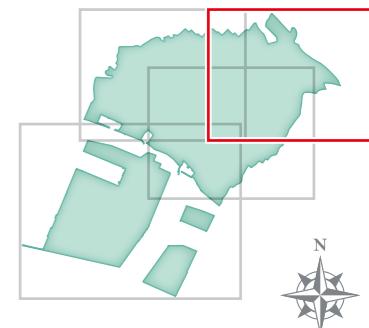
※津波避難対象地域内にいる人は、津波警報が発表されたときは、津波避難目標地点を目指して避難しましょう。

加古川市内にいるときは、山陽新幹線より北側、明石市内にいるときは、山陽電気鉄道より北側を目安に、より「遠く」より「高く」を目指して避難しましょう。





播磨町 北東部 地震・津波 ハザードマップ



津波避難対象地域等

津波浸水想定区域
津波避難対象地域

海拔

10m以上
5~10m未満
5m未満

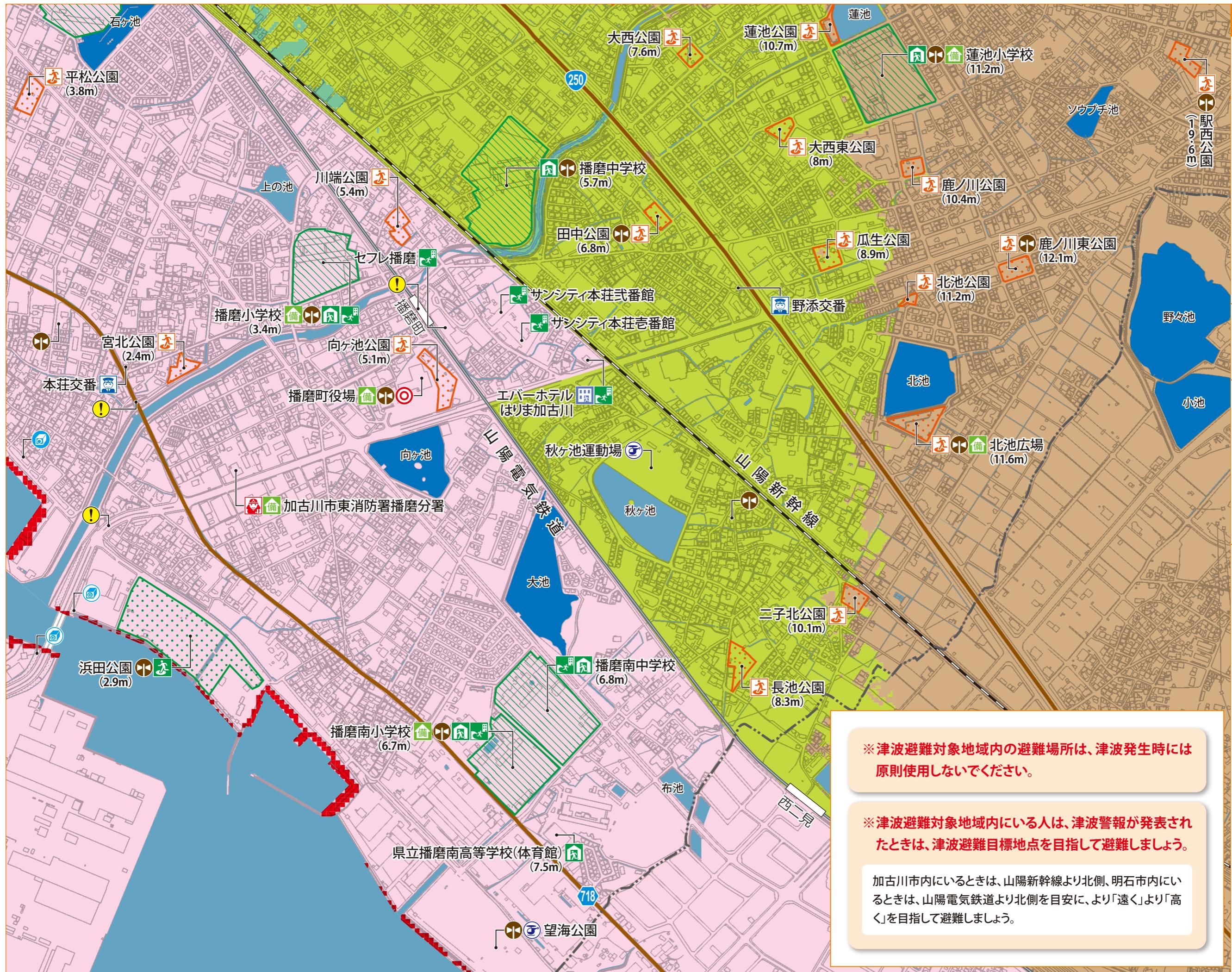
海拔の色分けは、津波避難対象地域外のみ表示しています。

施設等凡例

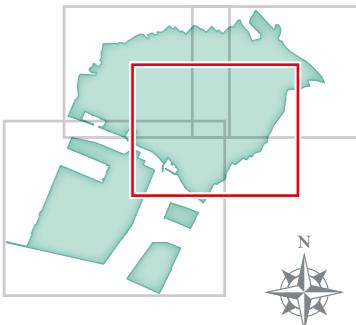
- 津波避難目標地点※
- 津波避難ビル
- 一時避難地※
- 広域避難地※
- 避難所※
- 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 臨時ヘリポート
- 地下道(通行注意箇所)
- 橋梁被害監視カメラ
- 潮位カメラ
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界
- 防災重点ため池

※避難所・避難場所名の下に、その地点の海拔を記載しています。

1:7500 0 100 200 300m



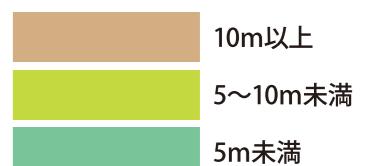
播磨町 南東部 地震・津波 ハザードマップ



津波避難対象地域等

■ 津波浸水想定区域
■ 津波避難対象地域

海拔



海抜の色分けは、津波避難対象地域外のみ表示しています。

施設等凡例

- 津波避難目標地点※
- 津波避難ビル
- 一時避難地※
- 広域避難地※
- 避難所※
- 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 臨時ヘリポート
- 地下道(通行注意箇所)
- 橋梁被害監視カメラ
- 潮位カメラ
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界
- 防災重点ため池

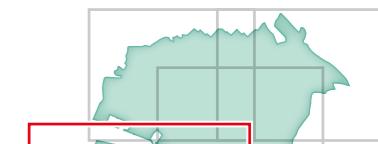
※避難所・避難場所名の下に、その地點の海拔を記載しています。

※津波避難対象地域内の避難場所は、津波発生時には原則使用しないでください。

※津波避難対象地域内にいる人は、津波警報が発表されたときは、津波避難目標地点を目指して避難しましょう。

加古川市内にいるときは、山陽新幹線より北側、明石市内にいるときは、山陽電気鉄道より北側を目安に、より「遠く」より「高く」を目指して避難しましょう。

地震・津波ハザードマップ



津波避難対象地域等

■ 津波浸水想定区域
■ 津波避難対象地域

海拔

10m以上
5~10m未満
5m未満

海抜の色分けは、津波避難対象地域外のみ表示しています。

施設等凡例

- 津波避難目標地点※
- 津波避難ビル
- 一時避難地※
- 広域避難地※
- 避難所※
- 臨時受入施設
- 警察
- 消防
- 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 臨時ヘリポート
- 地下道(通行注意箇所)
- 橋梁被害監視カメラ
- 潮位カメラ
- 役場
- 主要な道路
- 高速道路
- 鉄道
- 市町境界
- 防災重点ため池

※避難所・避難場所名の下に、その地点の海拔を記載しています。

※津波避難対象地域内の避難場所は、津波発生時には原則使用しないでください。

※津波避難対象地域内にいる人は、津波警報が発表されたときは、津波避難目標地点を目指して避難しましょう。

加古川市内にいるときは、山陽新幹線より北側、明石市内にいるときは、山陽電気鉄道より北側を目安に、より「遠く」より「高く」を目指して避難しましょう。



自然災害に備えて

非常持ち出し品・備蓄品



防災・減災の基本

防災・減災の基本は、日頃から災害に備え、「自助」「共助」「公助」が互いに連携し被害を最小限に留めることです。



防災組織の役割と活動

地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために結成される組織が“自主防災組織”です。日頃から防災に関する様々な取り組みを行うとともに、災害発生時には被害を最小限に止めるための活動を行います。



防災について家族で話し合おう

災害時に最も頼りになるのは家族です。家族そろって防災について話し合いましょう。

①家族一人ひとりの役割分担

火の始末の係、お年寄りや乳児などの安全確保の係、非常持ち出し品の係など、家族一人ひとりの役割分担を決めましょう。

②家族間の連絡方法

災害はいつ起こるかわかりません。災害時に居場所を伝える方法を考えましょう(災害用伝言ダイヤルの活用など)。

③避難所の確認

自宅、学校、勤務先から避難所への最も安全な経路と、家族全員が落ち合える場所を決めましょう。

④初期消火の方法を覚えましょう

消火器の置き場所や使い方を確認しましょう。

⑤家の内外の安全チェック

家屋の耐震化、家具などの転倒防止策、家の中や外の整理整頓をしましょう。

⑥非常持ち出し品・備蓄品のチェック

非常持ち出し品・備蓄品の食料や飲料水は賞味(消費)期限があります。定期的に確認しましょう。

非常持ち出し品

いざというときに備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。非常持ち出し品は、リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ばんそうこう <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ズキン <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 除菌ティッシュ・除菌スプレー	<input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード、免許証など(本人確認できるもの)
日頃から、7日分の食料と飲料水を、備蓄品として常備しておきましょう。 		
衣類など	日用品など	
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー ¹ <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池)	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク
		<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ)

備蓄品

災害復旧までの数日間(7日間程度)自ら生活できるように準備しておきましょう。被害を受けにくく、非常時でも取り出しやすい場所に保管しておくと良いでしょう。

食料	燃料・日用品など
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 米(缶詰やレトルトのご飯なども便利) <input type="checkbox"/> 缶詰や菓子類 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・離乳食	<input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> 予備のガスボンベ <input type="checkbox"/> 毛布または寝袋 <input type="checkbox"/> ブルーシート

「ローリングストック」を心がけましょう

備蓄食料・飲料水などの保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことを「ローリングストック」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。



わが家の避難マップを作ろう

災害に対しては日頃からの備えが重要です。各家庭や地域で避難行動判断フロー等と合わせて活用し、わが家の避難マップを作成しましょう。

STEP1 自宅付近の被害を確認しましょう

総合防災マップであなたの家を探して、予測されている被害の有無・程度を確認しましょう。

洪水浸水時:	被害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり → 予測される浸水深	m
--------	----	---	---

ため池浸水時:	被害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり → 予測される浸水深	m
---------	----	---	---

STEP2 あなたの避難先はどこですか？

目標とする避難先を確認して、避難先に印をつけ、避難先までの経路を考えてみましょう。浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。風水害時には、コミュニティセンター等の一時避難所が先行して開設されます。また、地震発生後、火災のおそれがある時は、公園等の一時避難地に避難してください。

洪水浸水時:	避難先は
--------	------

ため池浸水時:	避難先は
---------	------

高潮浸水時:	避難先は
--------	------

津波浸水時:	避難先は
--------	------

「分散避難」を心がけ、親戚や友人の家等、安全な避難先があれば、そちらも確認してください。

STEP3 実際に避難経路を歩いてみよう

実際に避難先まで歩いてみましょう。総合防災マップをもって危険なところなどをチェックしながら歩き、安全で避難しやすい経路や所要時間を確認しましょう。

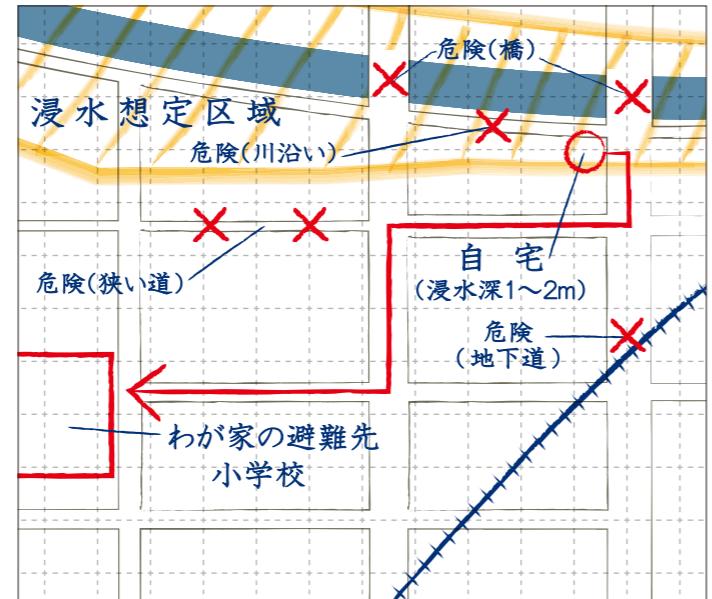
チェックポイント

- ✓ 川や水路等、大雨の際に危険な箇所はないか
- ✓ 自宅から避難先までの時間はどの程度か
- ✓ 坂道や階段等の歩きにくい箇所はないか
- ✓ 避難途中で逃げ込めそうな場所はあるか
- ✓ 夜間での避難を想定し、街灯等はあるか
- ✓ ブロック塀倒壊のおそれがないか
- ✓ 津波避難ビルの出入口はどこか
- ✓ 自動販売機が倒れるおそれがないか
- ✓ 配慮が必要な方でも歩くことができるか
- ✓ 津波避難目標地点までの所要時間は何分か
- ✓ その他、気づいたことはないか

STEP4 わが家の避難マップを作ろう

安全に避難先まで行けるよう、わが家の避難マップを作りましょう。作成例を参考に、STEP3で調べたことを書き込んで、一番安全な経路を確かめましょう。

●わが家の避難マップ作成例



マイ避難カードを作ろう

マイ避難カードとは

災害の危険が迫っている時に、「いつ」「どこに」「どのように」避難するかをあらかじめ自分で確認、書き出しておき、財布の中にしまっておくなど、いざというときの避難行動に役立てるためのカードです。自分の命は自分で守るために、もしものときに備えてマイ避難カードを作成しましょう。

記入欄に書き込んだ後、はさみ等で切り抜き、2つ折りにして携帯しましょう。



マイ避難カード

災害の種類	氏名
確認	判断材料
いつ?	逃げ時

マイ避難カード

災害の種類	氏名
確認	判断材料
いつ?	逃げ時

マイ避難カード

災害の種類	氏名
確認	判断材料
いつ?	逃げ時

マイ避難カード

災害の種類	氏名
確認	判断材料
いつ?	逃げ時

マイ避難カードを作ろう



〈カード内側〉▼項目をチェックしましょう

非常持ち出し品の例	●すぐに持ち出しそうるもの
ヘルメット(防災ずきん)	ティッシュペーパー
飲料水…500mlペットボトル程度	洗面用具
食料…アルファ米、チョコレート、	スポーツタオル
ビスケット、缶切り不要の缶詰など	筆記用具
懐中電灯・予備の電池…年に一度	貴重品…健康保険証、運転免許証、
は電池のチェック	預貯金通帳、現金(小銭は多目)、印鑑など
携帯ラジオ	軍手
救急医薬品…消毒や傷の手当ができるよう	ポリ袋(ビニール袋)
常備薬	使い捨てカイロ
体温計	マスク
ライター	除菌スプレー
	除菌ティッシュ

災害用伝言ダイヤル①⑦① ●災害時の「声の伝言板」です

- ① ①⑦①にかける
- ② 録音は① 再生は②
- ③ 被災地の方の電話番号を 市外局番から押す
- ④ 音声ガイダンスに従い、録音／再生

▲空欄に記入しましょう〈カード外側〉

マイ避難カード作成例

● 切りとり線

谷折り

非常持ち出し品の例 ●すぐに持ち出しそうるもの

ヘルメット(防災ずきん)	ティッシュペーパー
飲料水…500mlペットボトル程度	洗面用具
食料…アルファ米、チョコレート、	スポーツタオル
ビスケット、缶切り不要の缶詰など	筆記用具
懐中電灯・予備の電池…年に一度	貴重品…健康保険証、運転免許証、
は電池のチェック	預貯金通帳、現金(小銭は多目)、印鑑など
携帯ラジオ	軍手
救急医薬品…消毒や傷の手当ができるよう	ポリ袋(ビニール袋)
常備薬	使い捨てカイロ
体温計	マスク
ライター	除菌スプレー
	除菌ティッシュ

災害用伝言ダイヤル①⑦① ●災害時の「声の伝言板」です

- ① ①⑦①にかける
- ② 録音は① 再生は②
- ③ 被災地の方の電話番号を 市外局番から押す
- ④ 音声ガイダンスに従い、録音／再生

非常持ち出し品の例 ●すぐに持ち出しそうもの

ヘルメット(防災ずきん)	ティッシュペーパー
飲料水…500mlペットボトル程度	洗面用具
食料…アルファ米、チョコレート、	スポーツタオル
ビスケット、缶切り不要の缶詰など	筆記用具
懐中電灯・予備の電池…年に一度	貴重品…健康保険証、運転免許証、
は電池のチェック	預貯金通帳、現金(小銭は多目)、印鑑など
携帯ラジオ	軍手
救急医薬品…消毒や傷の手当ができるよう	ポリ袋(ビニール袋)
常備薬	使い捨てカイロ
体温計	マスク
ライター	除菌スプレー
	除菌ティッシュ

災害用伝言ダイヤル①⑦① ●災害時の「声の伝言板」です

- ① ①⑦①にかける
- ② 録音は① 再生は②
- ③ 被災地の方の電話番号を 市外局番から押す
- ④ 音声ガイダンスに従い、録音／再生

非常持ち出し品の例 ●すぐに持ち出しそうもの

ヘルメット(防災ずきん)	ティッシュペーパー
飲料水…500mlペットボトル程度	洗面用具
食料…アルファ米、チョコレート、	スポーツタオル
ビスケット、缶切り不要の缶詰など	筆記用具
懐中電灯・予備の電池…年に一度	貴重品…健康保険証、運転免許証、
は電池のチェック	預貯金通帳、現金(小銭は多目)、印鑑など
携帯ラジオ	軍手
救急医薬品…消毒や傷の手当ができるよう	ポリ袋(ビニール袋)
常備薬	使い捨てカイロ
体温計	マスク
ライター	除菌スプレー
	除菌ティッシュ

災害用伝言ダイヤル①⑦① ●災害時の「声の伝言板」です

- ① ①⑦①にかける
- ② 録音は① 再生は②
- ③ 被災地の方の電話番号を 市外局番から押す
- ④ 音声ガイダンスに従い、録音／再生

● 切りとり線

谷折り

自主避難所

風水害時には、以下の場所が先行して開設されます。

名 称	所在地	使用区分	
		洪水*	高潮
中央公民館	播磨町東本荘1丁目5-40	▲	▲
東部コミュニティセンター	播磨町二子418-3	○	○
西部コミュニティセンター	播磨町古田1丁目1-11	▲	○
野添コミュニティセンター	播磨町西野添1丁目14-17	○	○
南部コミュニティセンター	播磨町北本荘2丁目6-30	▲	▲

*▲の施設は、一部浸水の影響が想定されていますが、施設の上階などで避難が可能です。 *洪水は想定最大規模降雨

広域避難地／津波避難目標地点

津波の発生が予想されるときには、津波避難目標地点を目指して避難してください。

名 称	所在地	広域避難地	津波避難目標地点
浜田公園(自由広場)	播磨町本荘70-1	○	—
大中遺跡公園	播磨町大中1丁目387-1	○	○
野添北公園	播磨町上野添2丁目1900	○	○
石ヶ池公園	播磨町北本荘4丁目477	○	—

避難所

自主避難所が満員になったり、被災された方の受入れが必要になった場合、避難所を開設します。

名 称	所在地	使用区分			
		洪水*	高潮	地震	津波
播磨小学校	播磨町宮北1丁目3-10	▲	▲	○	—
蓮池小学校	播磨町西野添4丁目3-1	○	○	○	○
播磨西小学校	播磨町北本荘4丁目5-1	▲	▲	○	—
播磨南小学校	播磨町古宮5丁目11-10	○	○	○	—
播磨中学校	播磨町南大中1丁目6-50	▲	○	○	○
播磨南中学校	播磨町古宮5丁目10-1	○	○	○	—
県立東はりま特別支援学校	播磨町北古田1丁目17-17	▲	○	○	○
県立播磨南高等学校(体育館)	播磨町古宮4丁目3-1	○	○	○	—

*▲の施設は、一部浸水の影響が想定されていますが、施設の上階などで避難が可能です。 *洪水は想定最大規模降雨

津波避難ビル

逃げ遅れた際の緊急的な避難先として活用できます。風水害時にも避難途中に危険を感じた際の緊急的な避難先として活用できます。

名 称	所在地	使用区分			使用可能階数
		洪水*	高潮	津波	
播磨小学校	播磨町宮北1丁目3-10	○	○	○	校舎3階以上
播磨西小学校	播磨町北本荘4丁目5-1	○	○	○	校舎3階以上
播磨南小学校	播磨町古宮5丁目11-10	○	○	○	校舎3階以上
播磨南中学校	播磨町古宮5丁目10-1	○	○	○	校舎3階以上
セフレ播磨	播磨町南野添3丁目10-11	○	○	○	3階以上
サンシティ本荘壱番館	播磨町南野添3丁目5-1	○	○	○	3階以上
サンシティ本荘弐番館	播磨町南野添3丁目5-2	○	○	○	3階以上
エバーホテルはりま加古川	播磨町南野添3丁目1-1	○	○	○	3階以上
播磨町塵芥処理センター※1	播磨町新島59	○	○	○	3階以上
加古郡衛生センター※2	播磨町新島60	○	○	○	3階以上

*1:利用可能時間は、12月29日から翌年1月3日、土日祝日を除く、午前7時30分から午後4時までの間です。

*2:利用可能時間は、12月29日から翌年1月3日を除く、午前8時30分から午後5時までの間です。

*洪水は想定最大規模降雨